

札幌記録会第 2,3 戦 競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は 2023 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2. 練習場及び練習について

- (1) 練習は、補助競技場および本競技場の許可された場所を使用すること。室内練習場の使用は禁止。マーシャルの指示に従うこと。
- (2) 補助競技場での投擲練習については、砲丸投のみ指定されたピットで行うことを認める。その他の投擲種目は危険防止のため禁止とする。
- (3) 補助競技場での練習は、1~3 レーンは周回 4~6 レーンは直線(スタート) 7,8 レーンはハードルとする。

3. 招集について

(1) 招集方法

(ア) 競技者はタイムテーブルで指定された時間までに各競技場所に直接集合し、出発係の最終確認を受ける。

(イ) 代理人による招集最終確認は原則として認めない。

- (2) 競技者係の場所は、競技場第 1 ゲート付近 (100m スタート付近) に設ける。

4. アスリートビブスについて

- (1) 全ての競技者はユニフォームの胸・背に確実に付ける。跳躍競技の競技者は、胸又は背のどちらかに付けるだけでよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、各自用意した腰ナンバーを短パンの右腰やや後ろに付ける。
(オープンレーンの競技は競技者係で貸し出す。競技後必ずゴール地点で返却すること)

5. 競技の抽選及び番組編成について(レーン順、試技順)

- (1) 800m より短いトラック競技は競技運営上 1~9 レーンを使用する。レーン順・フィールド競技の試技順は、スタートリストに記載した順による。
- (2) トラック競技において、決勝進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たとき(以下同タイム者という)は、下記の方法で決定する。
 - ①100m 競技において次のラウンドへの進出者を決める場合、写真判定員主任が 0.001 秒単位の実時間を判定して出場者を判定する。それでも同成績者がありレーンが不足する場合は、同成績者または代理人によって抽選する。なお、アナウンス後 15 分を経過しても当該競技者あるいは代理人が大会総務に来なかった場合は、主催者が代行する。

6. 競技について

- (1) 競技運営上、競技日程及びピット・短距離走の走路をバックストレートフィニッシュに変更することがある。その際、招集開始時刻の 1 時間前には放送を通じて連絡を行う。
- (2) 短距離走のフィニッシュ後は、競技者の安全のために自分のレーン(曲走路)に沿って走り終わること。
- (3) スタートの合図は英語で行い、各レースでの不正スタートをした競技者は 1 回で失格とする。
- (4) リレーオーダー用紙は、予選・決勝とも第 1 組招集終了時間の 1 時間前までに競技者係に提出する。
- (5) 5000mW は、男女同時スタートとし、競技運営上、男子 30 分、女子 35 分以内に 4600m を通過出来なかった者は、競技を中止させ、失格とする。
- (6) 棒高跳の競技者は、自分の希望する支柱の位置を所定の用紙に記載し、跳躍審判員に届け出る。
- (7) フィールド内での投てきおよび跳躍の練習は、必ず審判員の指示に従う。競技中フィールド内での練習は絶対に行わないこと。
- (8) リレーに出場する競技者は、当該競技審判主任の判断により、フィールド競技について試技順を変更することができる。試技順を変更しても試技時間に間に合わなかった場合は、「パス扱い」となる。
- (9) 競技結果は掲示しない。札幌陸協 HP で確認すること。

7.フィールド競技

(1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	
男子高・一走高跳	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	以降 3cm 刻み
女子高・一走高跳	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	-	以降 3cm 刻み
男高・一棒高跳	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	以降 10cm 刻み
女高・一棒高跳	1m80	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	3m00	以降 10cm 刻み

*気温、天候などの状況によって審判長の判断で変更する場合もある。

(2) 第1位決定のバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳では5cmとする。天候その他の条件によって、変更する場合は当該審判長が決定する。

8. 競技場内への入退場について

- (1) 競技場への入退場は全て、競技役員の指示により行う。競技者以外はトラック・フィールドに立ち入ることはできない。
- (2) トラック競技における競技者は、第2ゲートから退場し、メインスタンド前は通らない。
*バックストレートフィニッシュの場合、ゴール後はそのままトラックを進み、第1ゲートより退場して、競技場玄関前を通り、第2ゲートより入場してスタート地点に戻る。(バックスタンドは通らない)
- (3) フィールド競技における競技者は、当該競技役員・マーシャルの指示に従い退場する。
- (4) 選手同士の密を避けるため、選手への付き添い等は行わない。

9. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具は全て、主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは個人所有のものを使用する。ポールについては、その競技開始前に跳躍場で跳躍審判員の検査を受け、許可されたものを使用できる。(やりも個人所有のものを認める。ただし、エントランスホールにて競技開始1時間前迄に検定を受けること。)
- (2) フィールド競技で、助走に使用するマーカーは主催者が用意する。使用し終わったら、競技者自身で取り外し、所定の場所に返納すること。(マーカーの数は既定の数を超えないこと。)
- (3) 競技で使用する滑り止め(炭酸マグネシウム等)は各自で用意すること。競技場では用意しない。

10. 競技用靴について

- (1) 競技場は全天候型舗装であり、スパイクピンの数は11本以内で、長さは9mm以内とする。走高跳とやり役では12mm以内とする。
- (2) トラック種目で、厚底シューズ(ソール厚25mmを超える物)は使用できない。

11. 応急処置について

大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病は、主競技場内の医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。

12. コロナウィルス感染拡大の防止にあたり、次の項目を遵守すること。

- (1) 各団体代表者は所属選手の健康状態の把握に努め、異常がある場合は直ちに対応し、主催者に報告すること
※主催者の指定する待機場所を使用すること。
- (2) 体温が平熱を大きく超えていたり、体調がよくなかったりする場合には自主的に参加を見合わせること。
- (3) 同居家族や知人に感染が疑われる方がいる場合には自主的に参加を見合わせること。
- (4) こまめな手洗いや洗顔などを実施すること。(主催者が石けんを設置する)
- (5) 用具(砲丸 ハンマー やりなど)使用後は手洗いまたはスプレーで除菌をすること。
- (6) ウォーミングアップは個別に行い、「密」をつくらぬよう心掛けること。
- (7) 運動中、痰やつばを吐くことは極力行わないこと。また、ゴミはすべて持ち帰ること。
- (8) どの場面においても、他の競技者、競技役員との距離をできるだけ確保すること。
- (9) 各チームは待機場所のスペースにゆとりを持たせるよう努め、できる限り密を避けること。

- (10) テントを使用するチームは密閉状態にならないように留意し、換気を心がけること。(雨天時でも 30 分に 5 分は換気すること)
- (11) 飲食については周囲の人となるべく距離をとって、対面を避け、会話を控えること。
- (12) タオルの共用、ドリンクの回し飲みはしないこと。
- (13) 団体代表者は、選手の競技場滞在時間が短くなるよう配慮すること。
- (14) 感染予防のために主催者が決めた他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- (15) 大会主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。

13. 開門及び本競技場開放時間について

- (1) 各駐車場 6:15開門 競技役員はなるべく第2駐車場をご利用ください。
- (2) 本競技場・補助競技場 6:30開門 競技場内でのウォームアップは7:00より
(選手のために開門するゲートは第1ゲート・第2ゲートのみとする。
- (3) メインスタンドは観客席として使用するため、選手は使用できない。(小学生を除く)
※3密を避けるため開門するまでゲートの前には集まらないこと。
※お願い 開門後、会場設営を行うので、顧問の皆様のご協力をお願いします。
- (4) 本競技場開放時間 トラック7:00~8:30 フィールド内7:00~7:40

14. その他

- (1) 競技場内には規定外の商社名・商品名を付けたスパイク袋またはバックを持ち入れてはいけない。
- (2) 競技の進行上、競技開始時刻が変更になる場合があるので、放送に注意すること。
- (3) トラブル防止のため、競技場スタンドに撮影禁止区間を設ける。(撮影禁止区間はポスター等で表示する)
- (4) テント設置の場合は本競技場敷地内または、補助競技場内とし、公園内には設置しないこと。設置の際各自・各チームで責任をもって、突風でテントが飛ばされたり、倒れたりしないよう確実にロープ等で固定すること。また、映像装置のカメラ付近への設置はしない。
※札幌記録会第2戦終了後、希望するチームにはテントを第3ゲート下の倉庫で5/3の第3戦まで保管することができる。但し、自己責任にて保管すること。
- (5) ゴミの始末については、各自・各チームで責任を持って行き、競技場にはいっさい捨てないこと。
- (6) 第1駐車場の出入口は、混雑と事故防止の観点から一方通行とする。
*入口はカミニシヴィレッジ(旧上野幌西小側) 出口は競技場前信号機側
- (7) 自家用車での送迎については、近隣の住民の方々に迷惑となるので競技場周辺の路上で駐停車はしないこと。